「水都の看板」きれいに

中之島ガーデンブリッジ 250人が清掃

大阪市北区の堂島川に架かる歩行者専用橋「中之島ガーデンブリッジ」（長さ77・5メートル、最大幅25メートル）で17日、奉仕活動の「橋洗い」が行われた。なにわ八百八橋「橋洗い」実行委員会の主催。北新地の飲食店関係者や一般ボランティアなど約250人が集まり、約1時間かけてデッキブラシやたわしなどで泥やコケなどを取り除いた。

大阪は江戸時代に多くの橋が架けられ「八百八橋」とうたわれる水都。大阪市庁舎にも近く、大阪の玄関口としての同橋をきれいにしようと大阪ロータリークラブなどが05年に活動を始めた。

この日は午前11時ごろから清掃開始。歩行者を妨げないように橋を半分ずつ清掃。ボランティアとして参加した会社員の島本真嗣さん（32）は「下をじっくり見ると橋が結構汚れていることにびっくり。みんなで清掃すると達成感がある」と額に汗を浮かべながら話した。実行委員長の須知裕曠さん（64）は「水都の看板橋をきれいにすることで、大阪が元気になれば」と話していた。【宮武祐希】

中之島ガーデンブリッジを清掃する参加者ら